



2024年度

神戸医療産業都市運営委員会
課題解決型企画提案事業補助金

事業者名
(代表企業・団体)

ポートアイランドソーシャライジング+(プラス)

事業の名称

島内人材交流促進のための部活動 (ボルダリング部)

解決を目指す課題

■ 交流促進 情報発信 人材育成 人材確保

事業実施期間

2024年10月15日 ~ 2025年3月21日

実績報告額

254,900円

神戸ポートアイランドは、震災で大きな被害を受けましたが、その復興の過程で多様な産業が集積する独自のクラスターとして発展してきました。この地の利を活かしたイノベーション創出には、産業間の横断的な交流とアイデアの融合が必要不可欠です。

産業間の横断的な交流には、各産業に従事する個々の交流関係を活性化することが鍵になると考え、ビジネス以外で気さくに交流できる部活動が開催されてきました。しかし、新型コロナウイルス蔓延の影響で、このような場が完全に途絶えてしまい、私自身、大変悔しい思いをしました。

今回、関係者とも相談し、コロナの影響が収まったこのタイミングで、途絶えてしまった気軽な交流促進の場を取り戻すため、神戸医療産業都市の中核であるアイセンター病院内ビジョンパーク施設から、ボルダリング部を再始動するという結論に至りました。

神戸医療産業都市内の一民間企業で働く身ではありますが、気軽に集える場を提供し、まずは皆さんに楽しんでいただき、人材交流を活性化することで信頼関係を構築し、イノベーション創出のきっかけを造れたらと考えています。

2024年9月18日

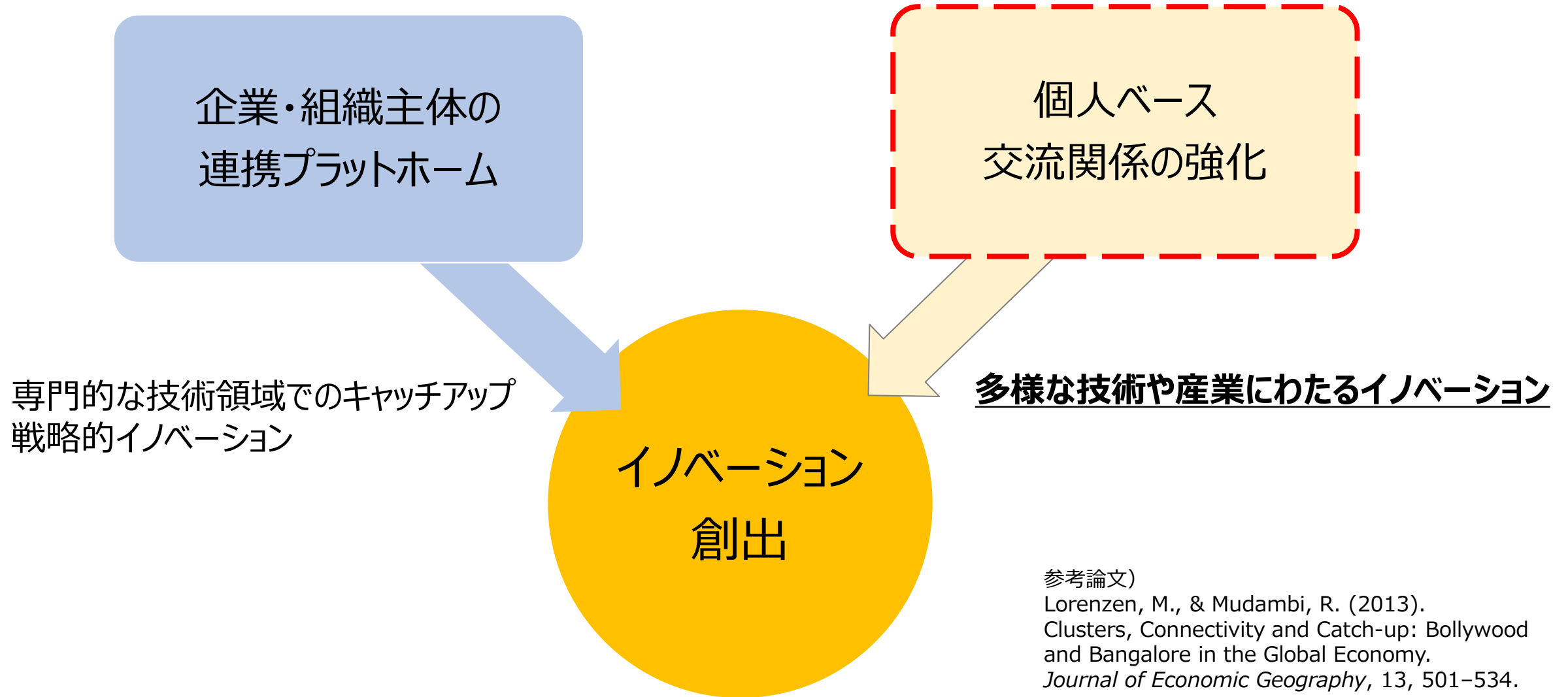
ポートアイランドソーシャライジング+ (プラス)

代表 中根 淳

報告内容

- 神戸発イノベーション創出のための目指すべき交流の在り方
- 交流促進のアプローチとその効果指標の設定
- ボルダリング部活動報告
- 評価結果と今後の方針

イノベーション創出のための目指すべき交流の在り方



個人ベースの交流関係強化は、イノベーション創出に欠かせない原動力となる

個人ベースの交流を促進する手段

ネットワーキング (ビジネス主体)

オンライン or ビジネス環境



- ・クラスター交流会
- ・再生医療勉強会
- ・創薬フォーラム
- ・Open innovation Café
- ・医療現場ニーズ発表会

- ・ **専門的な技術領域**で直接的なビジネスチャンス
- ・ 会社を背負った関係は利害関係が絡み、**心理的な制約**
- ・ 継続して会う機会がなく、深い関係を築くことが難しい面がある

ソーシャライジング

ビジネス以外での対面での社会的な交流



- ※新型コロナウイルスの影響で活動停止
- ・ボルダリング
- ・バドミントン
- ・大交流会
- ・登山
- ・スポーツ観戦

- ・ **多様な視点が融合した技術・産業のイノベーションの可能性**
- ・ 偶然な出会い、オープンなコミュニケーション
- ・ **心理的なハードルが低く、深い関係を築きやすい**

多様な産業が集積する神戸から独自のイノベーション創出のきっかけづくりに貢献したい

過去の活動で直面した課題： 継続的な交流機会を提供する難しさ

新型コロナウイルス蔓延の前に活動していた部活動



- 新型コロナウイルス蔓延
- 部活動幹事の引継ぎ不備
- 主要メンバーの転勤等



活動休止

継続して集える機会：仕事終わりに気軽に島内で参加できる → 部活動を再稼働

ボルダリング部による交流促進

仕事終わりに気軽に集える場所：医療センター駅直結 神戸アイセンター内（2Fビジョンパーク）

○みちびクライミングウォール



多様な参加者：

初心者から上級者、高齢者でも障害者でも誰もが直観的に楽しく続けられる。

協力とコミュニケーション：

参加者は共通の目標をもっており、メンバー間で協力して、登り方を攻略することが多く、自然とコミュニケーションが生まれます。

リラックスした環境：

カジュアルでリラックスした雰囲気、初対面の人とも気軽に話しやすい環境です。

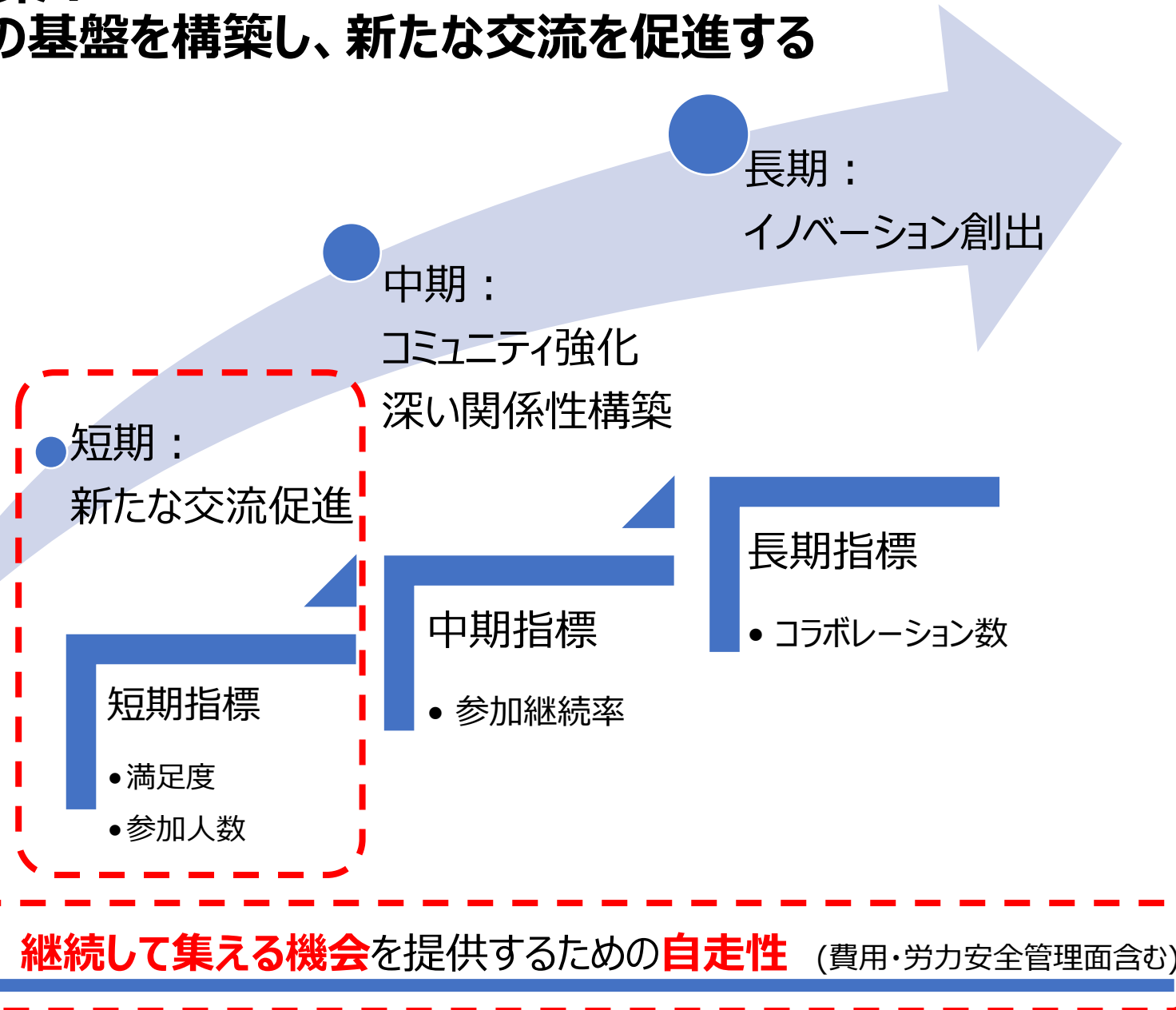
※ クライミングの中でも、飛び降りてもケガをしない程度の高さで行うものをボルダリングと呼びます。

※ 視覚障害者でも楽しめるように光るホールドと音によるフィードバック機能が備わっています。

新型コロナ蔓延により、閉鎖していたビジョンパークのクライミングウォールを再開いただいた
自走性の観点から、運営面を検討する必要有

本事業で期待される効果： フランクな定期的交流の基盤を構築し、新たな交流を促進する

効果測定指標： 時系列で三段階設定



1. 実施概要

項目	内容	
実施日	<ul style="list-style-type: none"> ・第一回：2024年11月8日 18:00~20:30 ・第二回：2025年2月21日 18:15~20:45 (講師による安全講習 17:45~18:15) 	
外部講師 スタッフ	計2名 (講師1名+スタッフ1名)	
検証課題	継続した交流促進としての有効性	自走的な運営基盤の構築
参加者アンケートによる 効果測定指標	参加人数、満足度、継続参加率	参加費の妥当性 安全面等運用規則の整備
効果測定結果	ボルダリングの満足度は高く 継続した交流促進に有効	2025年度以降、 自立的な継続運営が可能と判断

第一回ボルダリング 実施内容

参加者数：22名

講師：小林浩一郎さん

「ボルダリングの楽しさ」
について教えてもらいました。

講師の小林さんは、全盲のクライマーとして、世界大会で複数の優勝実績があるだけでなく、数々の挑戦を続けておられます。

その経験を通じて、視覚に障害があっても楽しめるスポーツとして、ボルダリングの魅力を動画も交えながら説明くださいました。

小林さんのパラクライマーとしての様々なご経験から、ボルダリングの楽しさの本質に迫る説得力のあるお話が聞くことができ、心打たれました。



第一回ボルダリング 実施内容

参加者数：22名

講師：小林浩一郎さん

「安全に楽しむためのポイント」
について教えてもらいました。

講師の小林さんから、クライミング
の基本的なルールや、安全に楽し
むためのポイント注意点を学び、
全員が大きなけがなく、安全に楽
しむための説明をいただきました。



第一回ボルダリング 実施内容

参加者数：22名

講師：小林浩一郎さん

小林さんにボルダリングを実演いただきました。

実際にボルダリングウォールを使って、上り方や下り方、初心者が上達するポイントになるテクニックを教えてくださいました。

参加者は小林さんの指導のもと、基本的な動作やコツを学びながら、ボルダリングの実技に挑戦しました。



第一回ボルダリング 実施内容

参加者数：22名

講師：小林浩一郎さん

最後に、参加者全員で楽しくボルダリングを楽しみました。

お互いに応援し合いながら、達成感を共有することができ、素晴らしい交流の時間となりました。



第二回ボルダリング 実施内容

参加者数：18名

講師：NPO法人モンキーマジック
水谷 理 さん

初めに安全講習を開いていただき、ボルダリングを安全に楽しめるポイントを教えていただきました。

自走的に神戸医療産業都市のボルダリング部が活動できるように、安全面での運用面での指導、アドバイスをいただきました。



第二回ボルダリング 実施内容

参加者数：18名

講師：NPO法人モンキーマジック
水谷 理 さん

参加者全員で楽しくボルダリングを楽しみました。

お互いに助け合い、励まし合いながら、ボルダリングの魅力を共有しました。

初心者も経験者も一緒になって挑戦し、達成感を味わうことができました。笑顔が溢れる素晴らしい交流の時間となりました。



第二回ボルダリング 実施内容

参加者数：18名

講師：NPO法人モンキーマジック
水谷 理 さん

ボルダリング終了後には、懇親会を開催しました。

リラックスした雰囲気の中で、ボルダリングの感想や経験を共有し、お互いの交流を深めることができました。

実は共通の知り合いが医療産業都市内にいたことがわかるなど、新たなつながりが生まれ、交流が一層深まりました。

楽しい時間を過ごし、イベントの締めくくりとして素晴らしい交流の場となりました。



2.効果測定の結果概要と次年度以降の活動に向けた検証結果

検証項目

効果測定指標

次年度以降の活動案

継続した交流促進としての有効性

- 参加者数 22名(第1回) 17名(第2回)
- 満足度 ◎
- 次回参加したい◎

事業自体の必要性：あり

開催頻度：
月に2~3か月に1回

開催場所：
神戸アイセンター他

自立的運営基盤の構築

- 参加費 1500円/一人
- 安全面での担保
安全講習、事前教育の実施体制

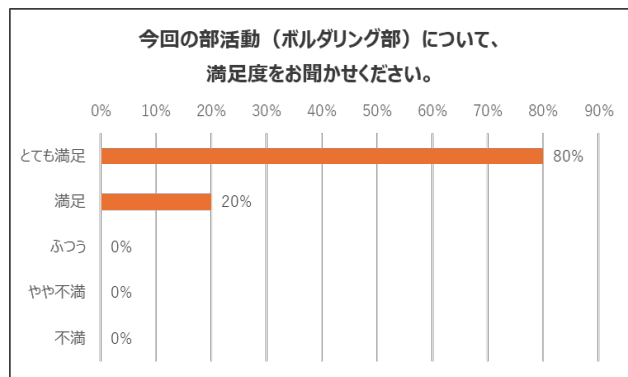
課題解決型補助金を活用せずに
自走的運営可能

多様なバックグラウンドの参加者を集うための、新たな交流形成策を計画

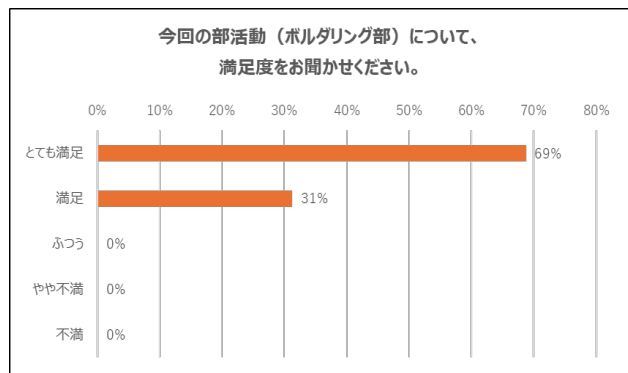
参加者アンケート結果

満足度

第一回



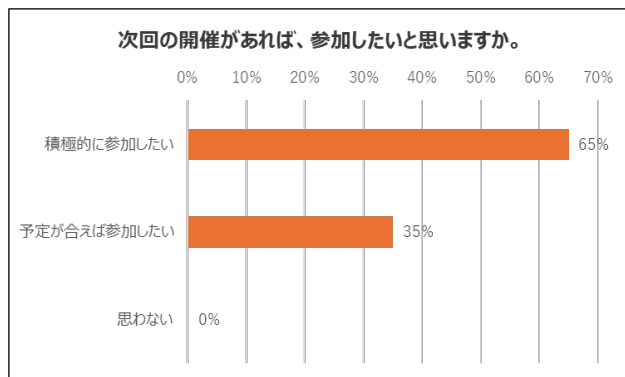
第二回



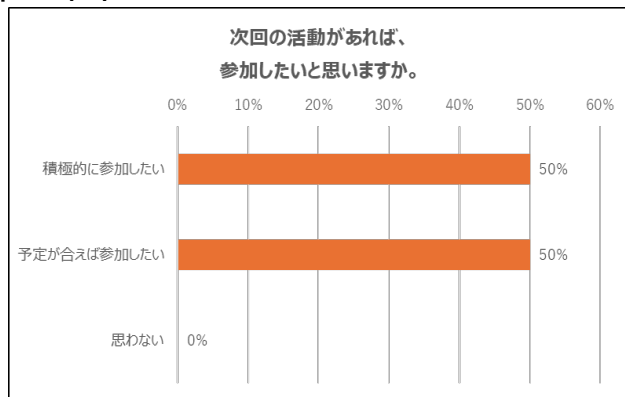
満足、とても満足で 100%

次回参加したいか

第一回



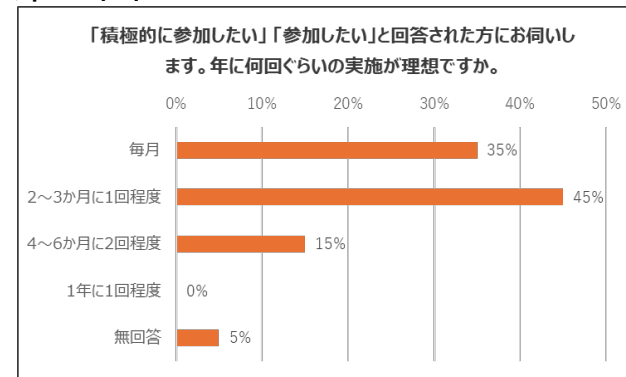
第二回



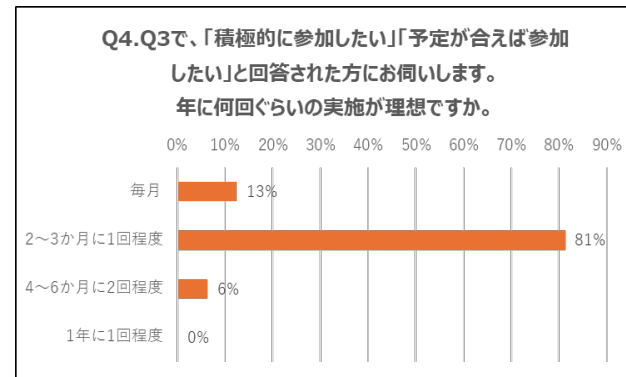
積極的に参加したい
予定が合えば参加したい 100%

開催頻度

第一回



第二回

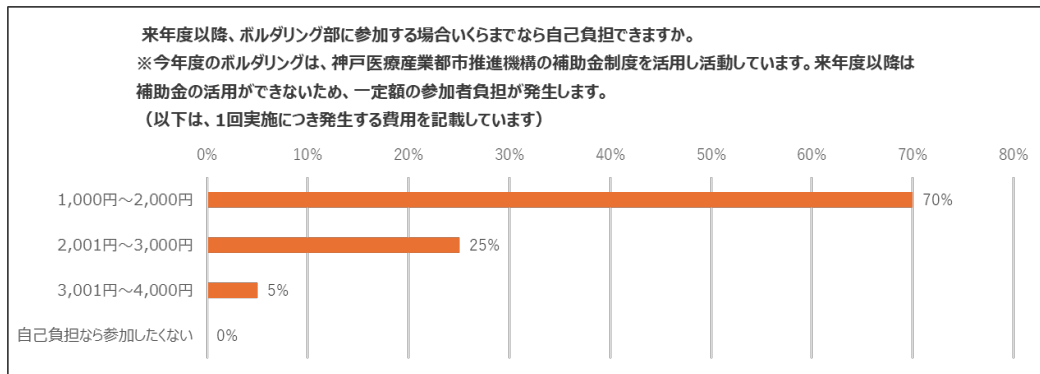


2~3か月の一度程度 81%

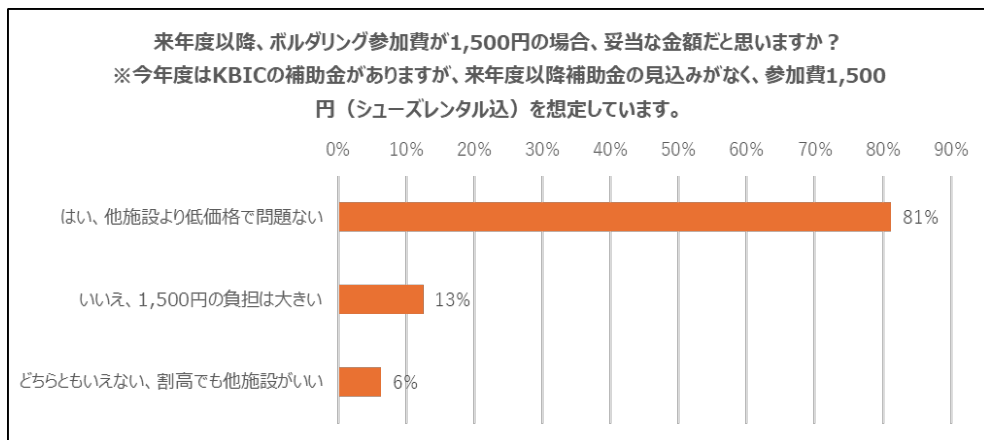
参加者アンケート結果

参加費用について

第一回



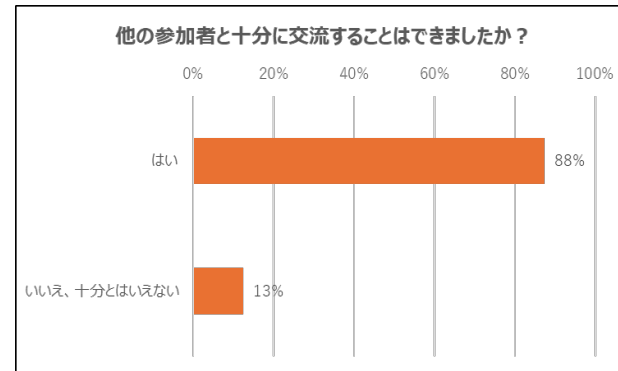
第二回



1500円で問題ない 81%

参加者同士の交流について

第二回



十分交流できた 88%

安全面での担保のための取り組み

- 安全 10 か条の周知徹底
 - 毎回参加者には、安全 10 か条(NPO法人モンキーマジックにて制定されたもの)を周知徹底します。
- 安全確保規約の作成
 - 施設利用時の注意や、けがのリスクと予防法
- 安全講習の実施
 - 毎回参加者には、安全 10 か条(NPO法人モンキーマジックにて制定されたもの)を周知徹底します。
 - NPO法人モンキーマジック開催の安全講習を受けたメンバーは、それ以外のメンバーに対して、安全確保のためのアドバイスや指導、教育を行う。
- 緊急時対応マニュアルの整備
 - 緊急時の連絡先や対応手順を明確にし、迅速な対応ができるようにします。

謝辞

本事業の遂行にあたり、ご協力を賜りましたすべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。
特に、多大なるご協力を賜りました以下の皆様には深く感謝いたします。

NPO法人モンキーマジック 代表 小林 幸一郎氏
副代表 水谷 理氏

公益財団法人 NEXT VISION 事務局長 山田 千佳子氏

ZACROS株式会社 ウェルネス事業本部 松田 博行氏

株式会社テクノプロ テクノプロ・R&D社 廣岡 雅彦氏

株式会社オリエンタルバイオサービス 神戸BMラボラトリー 鈴木 英之氏

株式会社カネカ 再生・細胞医療研究所 西下 直希氏